

学会の事業に対するアンケート

年会の機会に、学会の活動に会員の希望を反映させるため、参会者に調査用紙を配布して記入していただきました。回答率はおよそ 25% ですが、回答の中から主な御意見を拾って御紹介いたします。

なお、本学会では学会の運営や事業に関し、今後如何なる形式でも会員諸氏の御意見の御申し出を歓迎します。

1. 本学会誌の内容について

大体は適当と認められましたが、なおつぎのような御意見がありました。

- イ) OR worker として実務に後立つ実施例に更に重点を入れてもらいたい
- ロ) 特集号をときどき出してもらいたい
- ハ) 地方および個人的にORに接触する機会の少ない者に対して講座的なものを
- ニ) 綜説的なもの、および新しい手法の和訳を掲載してほしい

2. 年会または秋季大会について

a. 特別講演について——年会の特別講演は大体、会員の御希望にそったようでしたが、今後の希望として

- イ) ORの現状からみて啓発的なものを希望
- ロ) 産業部門における取りあげ方、あり方についての探究と実用化に対するPR的活動がまだ不足のように考えられ、かゝる観点からの解明を希望
- ハ) 講演は目的のはっきりした綜説的なものに限定

b. 期日について——土曜、日曜がよいか、週日の方がよいかのアンケートに対し、土・日曜に開催を希望する者が大部分であった。

また、開催地を熱海、箱根のような宿泊施設のあるところではどうかのアンケートに対し、大

部分は不可であった。

c. 分科会のあり方について 本年度は理論、応用の2部会を設けたが、このようなやり方についての御意見として——つぎのような御意見があった。

- イ) 理論、応用に分けるのは今後むづかしくなると思いますから、内容のテクニク別にしたら如何
- ロ) 平行的に部会を設けると両方きけないので困る。

3. その他本会の事業に対して

- イ) 電気学会講座とか、機械学会講座の如き、レクチュアを出版されては
- ロ) 各業務についてのOR手法のコンサルタント業務
- ハ) 電子計算機会社の設立（沢山あってもよい）
- ニ) 諸外国のOR学会との交流
- ホ) 会社経営者に対する啓発をも盛んに行って欲しい
- ヘ) ORの定義の authorize について努力されたい
- ト) OR手法の組織化について研究されたい
- チ) 地方にいるものにも研究連絡がよくできるように研究者の連絡先名簿等を整備してほしい。また研究指導部の如きを作ったらどうか